

令和3年春号
仙台市議会議員(泉区)

細野 たかし



発行：民主フォーラム仙台 編集：細野たかし 〒981-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

2月8日から3月12日まで、令和3年仙台市議会第1回定例会が開かれました。本定例会には令和3年度一般会計予算を含む62件の議案に加え、新型コロナウイルス感染症対策や2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震災害の復旧に関する追加議案等が提出され、33日間の会期を終えました。

新型コロナウイルス感染症及びこの度の地震被害に遭われました皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、引き続き市民生活の向上をめざし、頂いたお声を市政へ届けて参ります。

細野 たかし プロフィール

- 1981年(昭和56年)3月生まれ(40歳)
- 岩手県盛岡市 出身
- 家族:妻、長女、長男、次女、犬1頭
- 2019年(令和元年)8月仙台市議会議員選挙 初当選

令和3年 第1回定例会 予算等審査特別委員会「健康福祉費」概略

○ 病児・病後児保育とすくすくサポート事業について

本市では6つの施設にて「病後・病後児保育^(注1)」の受け入れが行われていますが、共働きの核家族世帯が増加している昨今、保護者から制度の利便性向上を求める声が聞かれています。例えば、利用のための事前登録が紙でしか出来ず、また、利用する施設ごとにその用紙の提出が必要であること。利用日の当日にかかりつけ医を受診し、「家庭医連絡票」を発行(費用は医療機関による)してもらう必要があり、子どもを預けるまでに時間を要すること。また、時間単位で休暇が取れない職場では一日休暇扱いとなってしまう、この制度を利用する意味がないなどが挙げられる点を指摘しました。



他の政令市では事前登録の簡略化や、当日のかかりつけ医の受診が不要(受け入れ施設で受診可)など、利便性の高い施策が行われていることを例に挙げ、本市においても他都市へひとつ誇れる取り組みを行うよう強く求めました。

また、訪問型サービスも受けられる「すくすくサポート事業^(注2)」の利用料について減免制度が無いことを指摘。時間単価の高さを理由に利用したくても出来ない市民のため、一刻も早い非課税世帯への減免制度新設を当局に強く求めました。

(注1) 病中または回復期にあるが、保育所での集団保育等が困難なお子さんで、保護者の勤務の都合等で家庭での保育が困難なお子さんを実施施設で預かる事業。(一日あたり2,000円で減免制度あり)

(注2) 子どもを預かってほしい利用会員と、預かることができる協力会員が預け・預かる子育て支援活動。本市が事務局となり、運営している事業。(一時間700円で減免制度なし)

令和3年 第1回定例会 予算等審査特別委員会「消防費」概略

○ 消防団の入団促進と資機材の充実、仙台市地域防災リーダー(SBL)の若手養成について



消防団員の高齢化及び担い手不足の課題について当局の所見を求め、「消防団活性化五カ年計画」に基づく令和3年度の取り組みについて質しました。若手団員の確保に向け、防災教育の機会を利用し積極的なアプローチを行うこと、また、募集協力事業所に対する新たなメリットの提案をし、各種メディアやSNS、本市ホームページを活用した能動的な働きかけを求めました。

また、平成30年に実施された全団員対象のアンケートで出された意見を基に、災害時に参集する機械器具置場への情報収集用のテレビ設置を強く要望しました。

加えて、発災直後の地域での救援や避難所運営を手伝う仙台市地域防災リーダー(SBL)の養成状況を質し、担い手の高齢化と男女比率の偏りを指摘。令和3年度事業である、学生に対する養成事業の手法について説明を求めました。特に避難所運営では女性の視点が重要であることや各地域で継続して担っていただける体制作りが急務であることを述べ、危機管理監の所見を求めるとともに、これらの着実な履行を強く要請しました。

実際の質疑・答弁の様子は市議会ホームページ(録画)でご覧になれます。

<https://sendai-city.stream.jfit.co.jp>



お困りごとや課題を
お聞かせください

仙台市議会議員 細野たかし 市政広聴シート

お名前

ご住所 〒 -

電話番号 - -

お困りごと・課題など

専用FAX.022-778-8665



hosono@dune.ocn.ne.jp

いただいた情報をもとに調査し、地域の問題解決に活かしてまいります。

仙台市議会議員 細野たかし事務所

〒981-3122 仙台市泉区加茂5丁目33-1 加茂オフィスビル101

TEL.022-779-7561

FAX.022-779-7562

Mail:hosono@dune.ocn.ne.jp